

国際交流基金 (JF)
ベルリン日独センター (JDZB)

変動する社会における教育の未来

日・独の視点

シンポジウム

2026年3月19日(木)

18時～20時30分 日本時間

ドイツ文化会館 OAG ホールおよびオンラインおよびオンライン

2026年3月16日現在

言語：日本語およびドイツ語（同時通訳付き）

プログラム

17:30～18:00 会場受付および Zoom 入室開始

18:00～18:10 開会挨拶

ユリア・ミュンヒ (Dr. Julia Münch、ベルリン日独センター事務総長)

佐藤百合 (国際交流基金参与)

18:10～18:40 基調講演

司会：フェーベ＝ステラー・ホルドグリューン (Dr. Phoebe Stella Holdgrün、ベルリン日独センタープロジェクトマネジメント・ディレクター)

ヤニス・ブルクハルト (Dr. Jannis Burkhard、ライプニッツ教育研究・教育情報研究所)

講演題目「ドイツの教育：全国的な教育状況調査から見る概観」

白水 始 (国立教育政策研究所初等中等教育研究部長 兼 データサイエンスセンター副センター長)

講演題目「日本の学校教育の目的とその実現に向けた取組 ～『わからない』と言える社会づくりを目指して」

18:40～19:30 教育現場における取り組み 1：日本の事例 — 「対話」から学び、理解を深める
協調学習

司会：原 秀樹（国際交流基金国際対話部長）

18:40～18:55 平野 智紀（公立はこだて未来大学メタ学習センター／社会連携センター准教授）

講演題目「話し合いながらアートをみると、何が起こるか」

18:55～19:10 畑 文子（教育環境デザイン研究所（CoREF）研究員、私立武南高等学校教諭）

講演題目「正解を急いでしまう私たち～『わからない』を探しに行こう」

19:10～19:30 質疑応答

19:30～19:40 休憩

19:40～20:30 **教育現場における取り組み2：ドイツの事例－移民社会における学校教育と教育方法／授業における新技術の活用**

司会：原 秀樹（国際交流基金国際対話部長）

19:40～19:55 シルヴィオ・ヴェンデ（Silvio Wende、ベルリン・フリーデナウ総合制学校社会科学主幹教諭）

講演題目「一人ひとりの視点を大切に、主体的な取り組みを通して、すべての生徒に可能性を開く－ベルリンの包摂的な総合制学校の実践報告」

19:55～20:10 ヘンドリック・ハウアーカンプ（Hendrik Haverkamp、ギュタースロー・プロテスタント・ギムナジウム教諭およびデジタル化コーディネーター、時代に即した試験文化研究所共同創設者、AIバーチャルコンピテンスセンター共同代表、FelloFish 共同創設者）

講演題目「事実・フェイクニュース・AIによる誤情報生成の狭間で－学校教育における学習促進のためのAI活用」

20:10～20:30 質疑応答

20:30 閉会挨拶

閉会